

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
管理会計論Ⅱ	共通	3・4年生・後期	2	選	木下 勝一
履修の前提条件	簿記会計の基本的な知識を前提として講義を行うので、「会計学入門」、「簿記」、「財務会計論」の単位を取得していることが望ましい。また、前期の「管理会計論Ⅰ」の履修をしていることが前提である。				
授業概要 (Course Outline)					
本授業科目は、企業経営の計画・管理、戦略立案のためのツールと理論について、コスト情報、損益分岐点分析、活動基準管理、意思決定、企業戦略、キャッシュフロー管理の分野を学習する。財務会計と管理会計の情報提供機能の違いについて、具体的な事例分析を示しながら講義を進めていく。このため、会計情報が経営管理に果たす役割を個々の経営管理手法を通じて理解を深めることが本授業科目の狙いである。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				○
	情報リテラシー Information Literacy				○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
本授業は、企業における意思決定と業績管理のための情報提供システムであるコストの会計情報とコスト以外の非会計情報の統合的な把握のための様々な経営管理手法を学ぶことを通じて、日本型経営管理のための具体的な技法を習得する。このため、狭い意味における原価計算手法だけでなく、広義の意味における経営管理のための会計技法を理解することができる。					
事前学習の内容	毎回の授業の終わりに次回の指定テキストの講義範囲を指示するので、前にテキストを読んでおくこと				
事後学習の内容	毎回の授業のなかで、指定テキストのキーワードを指示するので、自宅学習の際に復習すること。適宜、授業のなかで、キーワード自習の確認を行う。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
本授業の内容について、個別事例研究のための課題レポートを作成することを指示するので、指定日時に、ワープロ文書のレポートを提出することを義務づけます。また、授業の進展に応じて、重要な専門用語についての確認小テストを実施し、受講生の理解度をチェックするとともに、対話型の解説を行う。さらに、本授業に対するコメントカードを配布するので、質問、疑問、意見等々について、積極的な発言を期待します。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
問い合わせ、相談等は研究室(455)において、随時受け付けます。また、オフィスアワーは、月曜日4限目、火曜日2限目ですが、事前にメール(kinoshita@kiis.ac.jp)で照会してください。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験: 日本商工会議所簿記検定試験3級の受験を奨励します。また、試験合格の結果を成績評価の際に考慮します。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日時に、木下までメールで提出してください。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	前期の管理会計論Ⅰの概説をする。		
第2回	中期利益計画		
第3回	バランスト・スコアカード		
第4回	予算管理		
第5回	事業部制—組織の分権化		
第6回	コントロールシステム		
第7回	中間テスト—専門用語等の理解度テストの実施		
第8回	戦略的コストマネジメントと原価企画		
第9回	原価企画とバリュー・チェーン		
第10回	原価管理システム		
第11回	マーケティング意思決定		
第12回	製品・価格・チャネルプロモーション・顧客政策		
第13回	研究活動のための資源配分と管理		
第14回	開発活動のための資源配分と管理		
第15回	管理会計論Ⅱのまとめ		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
管理会計・入門	浅田孝幸	有斐閣	
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験(40%)、中間試験(20%)、課題レポート(20%)、確認小テスト(10%)、平常点(10%)を総合して評価する。キーワード自習の確認は平常点のなかに含める。			